

株式会社チヨダ  
 専務取締役 田木 敬  
 コード番号: 8185 東証一部  
 IR問合せ先 広報・IR室長 井上 裕一郎  
 電話番号 03-3316-6555

## 平成27年2月期 月次売上高・客数・客単価 前年比推移 - 9月度確報

(単位%)

全社		3月	4月	5月	第1四半期	6月	7月	8月	第2四半期	上期	
既存店	売上	15.0	-8.3	-3.3	1.1	-9.1	-4.2	1.3	-4.6	-1.6	
	客数	6.3	-10.6	-7.8	-4.3	-11.8	-8.7	-3.5	-8.3	-6.3	
	客単価	8.1	2.6	4.8	5.5	3.0	4.8	4.9	4.0	4.9	
全店	売上	16.1	-8.0	-3.0	1.7	-9.5	-5.0	0.8	-5.0	-1.5	
	客数	7.2	-10.5	-7.7	-3.9	-12.4	-9.6	-4.1	-8.9	-6.4	
	客単価	8.2	2.8	5.0	5.7	3.2	5.0	5.1	4.2	5.1	
店舗数	新店	9	5	1	15	3	0	0	3	18	
	退店	3	3	6	12	4	1	8	13	25	
	店舗数	1,106	1,108	1,103	1,103	1,102	1,101	1,093	1,093	1,093	
		9月	10月	11月	第3四半期	12月	1月	2月	第4四半期	下期	通期
既存店	売上	-6.3			-6.3					-6.3	-2.2
	客数	-11.3			-11.3					-11.3	-7.0
	客単価	5.6			5.6					5.6	5.0
全店	売上	-7.2			-7.2					-7.2	-2.2
	客数	-12.3			-12.3					-12.3	-7.1
	客単価	5.7			5.7					5.7	5.2
店舗数	新店	2			2					2	20
	退店	7			7					7	32
	店舗数	1,088			1,088					1,088	1,088

\*既存店 13ヶ月以上稼働している店舗を対象とし、その店舗の前年同月との対比。  
 \*月初に前年対比の速報値、中旬以降に確報値を掲載します。

当月の全店売上前年比は92.8%、既存店売上前年比は93.7%となりました。  
 曜日まわりの影響は、日曜日が1日少なかったことで、4ポイント弱のマイナスとなっています。

月中旬までは、気温の低下により、秋物ウォーキングシューズなどの動きが良く、売上は堅調に推移しましたが、下旬は、前年9月下旬に実施したTVCMを10月に後ろ倒した影響などから、低調に推移しました。今期業態ごとに取り組んでいる商品構成の見直しにより、客単価は前年比105.7%と大きく上昇しましたが、客数の落ち込みをカバーしきれませんでした。

商品面については、メンズ、レディースともに、ライフスタイルの変化に合わせて、PBを中心にカジュアルシューズを強化しました。メンズでは、秋の行楽シーズンに合わせて展開した「ハイドロテック」と「バイオフィッター」のウォーキングシューズが好調に推移し、レディースでは、社内の女性チームによる「チヨダ・ファッション・プロジェクト」から生まれた立ち仕事用パンプス「バイオフィッター・キレイウオーク」が全体を牽引しました。

販売施策では、好評な「靴の下取りキャンペーン」を継続するとともに、従来の「シルバーデー」を、対象年齢を広げて「ハッピーシニアデー」と改めて実施したことで、同期間(9/13~9/17)の販売は好調に推移しました。

出退店については、当月は2店舗を出店し、7店舗を閉店しました。内1店舗はチヨダから東京靴流通センターへの業態変更となります。

- 新規出店---2
- 退店---7
- 店舗数(2014年9月末)
- チヨダ(CY):119
- 東京靴流通センター+ザ・シューズ(TSRC):576
- シュープラザ(SP):364
- SPC:29
- セダークレストショップ(CC):0

----- 合計 1,088

以上